

令和3年度第7回ヨコハマeアンケート 家具転倒防止対策や感震ブレーカーの設置などによる 防災対策に関するアンケート

実施期間 令和3年8月20日（金）から9月3日（金）

事業所管課 総務局 地域防災課

年代別・性別のメンバー数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	13 (0.4%)	60 (1.7%)	194 (5.5%)	421 (12.0%)	433 (12.3%)	425 (12.1%)	255 (7.3%)	1 (0.0%)	1,802 (51.2%)
女性	9 (0.3%)	102 (2.9%)	481 (13.7%)	544 (15.5%)	384 (10.9%)	132 (3.8%)	41 (1.2%)	0 (0.0%)	1,693 (48.1%)
不明	1 (0.0%)	3 (0.1%)	3 (0.1%)	6 (0.2%)	4 (0.1%)	4 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	22 (0.6%)
計	23 (0.7%)	165 (4.7%)	678 (19.3%)	971 (27.6%)	821 (23.3%)	561 (16.0%)	297 (8.4%)	1 (0.0%)	3,517 (100.0%)

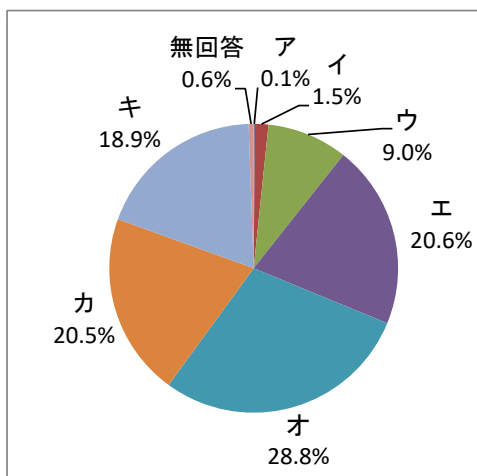
年代別・性別の回答者数／回答率

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	不明	計
男性	2 (15.4%)	15 (25.0%)	69 (35.6%)	215 (51.1%)	226 (52.2%)	260 (61.2%)	146 (57.3%)	1 (100.0%)	934 (51.8%)
女性	1 (11.1%)	26 (25.5%)	140 (29.1%)	216 (39.7%)	166 (43.2%)	77 (58.3%)	18 (43.9%)	0 (0.0%)	644 (38.0%)
不明	0 (0.0%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (36.4%)
計	3 (13.0%)	42 (25.5%)	209 (30.8%)	435 (44.8%)	393 (47.9%)	339 (60.4%)	164 (55.2%)	1 (100.0%)	1,586 (45.1%)

Q1 あなたの年齢(年代)について教えてください。 (単一選択)

n = 1,586

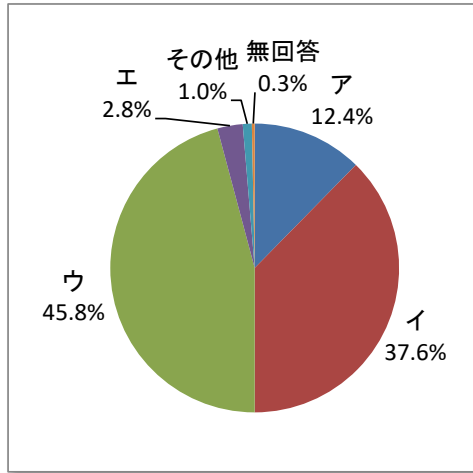
ア	10歳代	0.1%	2
イ	20歳代	1.5%	24
ウ	30歳代	9.0%	143
エ	40歳代	20.6%	326
オ	50歳代	28.8%	457
カ	60歳代	20.5%	325
キ	70歳代以上	18.9%	300
無回答		0.6%	9
		100.0%	1,586



Q2 あなたの世帯構成について教えてください。(単一選択)

n = 1,586

ア	単身者(回答者のみ)	12.4%	196
イ	夫婦等(回答者とパートナーの2人)	37.6%	597
ウ	親と子(2世代)	45.8%	727
エ	祖父母と親と子(3世代)	2.8%	45
その他		1.0%	16
無回答		0.3%	5
		100.0%	1,586



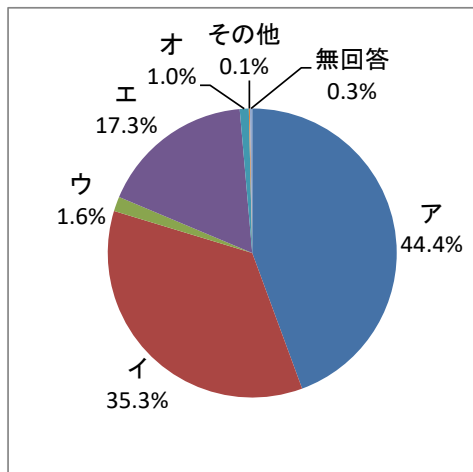
その他(抜粋)

4世代

Q3 あなたのお住まい(住宅)と居住形態について教えてください。(単一選択)

n = 1,586

ア	持家(一戸建て)	44.4%	704
イ	持家(マンション・共同住宅)	35.3%	560
ウ	借家(一戸建て)	1.6%	26
エ	借家(マンション・共同住宅)	17.3%	274
オ	社宅・公務員住宅・寮	1.0%	16
その他		0.1%	2
無回答		0.3%	4
		100.0%	1,586



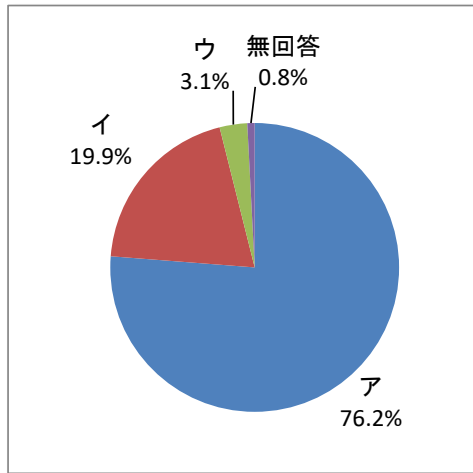
その他(抜粋)

店舗併用借家

Q4 あなたは、自治会、町内会に加入していますか。
(単一選択)

n = 1,586

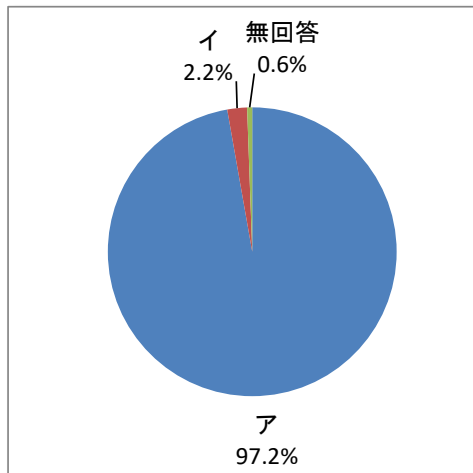
ア	加入している	76.2%	1,209
イ	加入していない	19.9%	315
ウ	分からない	3.1%	49
無回答		0.8%	13
		100.0%	1,586



Q5 地震が発生した際の備えとして、家具が倒れないように固定しておくことや家具を安全に配置するなどの家具の転倒防止対策が、家具の倒れこみによる火気器具・電気機器の出火や転倒した家具の下敷きになることなどからご自身やご家族の身を守るために有効であることを知っていますか。
(単一選択)

n = 1,586

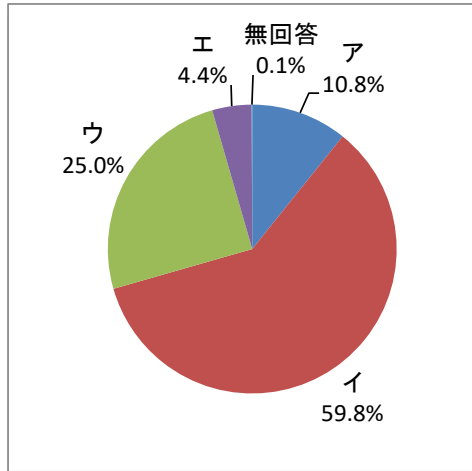
ア	知っている (⇒Q6)	97.2%	1,542
イ	知らない (⇒Q10)	2.2%	35
無回答		0.6%	9
		100.0%	1,586



Q6 Q5で「ア 知っている」と答えた方にお聞きします。
 あなたのご自宅では、地震によって転倒するおそれのあるタンスや食器棚などの家具類を固定(転倒防止)していますか。(粘着マットも含みます)
 (単一選択)

n = 1,542

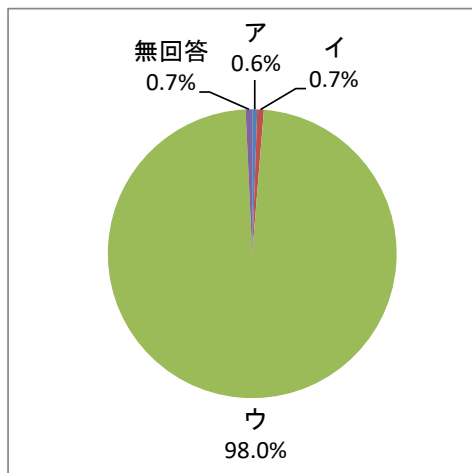
ア	全ての家具類を固定(転倒防止)している (⇒Q7)	10.8%	166
イ	一部の家具類を固定(転倒防止)している (⇒Q7・9)	59.8%	922
ウ	固定(転倒防止)していない (⇒Q8・9)	25.0%	385
エ	固定(転倒防止)が必要な家具類がない (⇒Q10)	4.4%	68
無回答		0.1%	1
		97.2%	1,542



Q7 Q6で「ア 全ての家具類を固定(転倒防止)している」及び「イ 一部の家具類を固定(転倒防止)している」と答えた方にお聞きします。
 家具を固定(転倒防止)する際、家具転倒防止器具の取付けを無料代行する横浜市の助成制度を利用しましたか。
 (単一選択)

n = 1,088

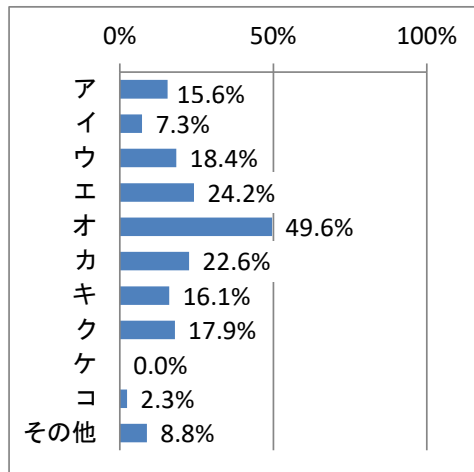
ア	利用した	0.6%	6
イ	一部利用した	0.7%	8
ウ	利用していない	98.0%	1,066
無回答		0.7%	8
		100.0%	1,088



Q8 Q6で「ウ 固定(転倒防止)していない」と答えた方にお聞きします。
家具類の固定(転倒防止)をしていない理由について、次の中からお選びください。
(複数選択可)

n = 385

ア	固定する方法が分からないから	15.6%	60
イ	固定器具がどこで購入できるか分からないから	7.3%	28
ウ	固定するための作業を1人ではできないから	18.4%	71
エ	費用がかかるから	24.2%	93
オ	手間がかかり面倒だから	49.6%	191
カ	部屋の見え目が悪くなったり家具や壁を傷つけてしまうから	22.6%	87
キ	賃貸住宅のため色々と制約があるから	16.1%	62
ク	必要性を感じないから(大規模地震には効果がない・転倒しても危険ではないなど)	17.9%	69
ケ	家具転倒の危険性について知らなかったから	0.0%	0
コ	助成制度の対象外であるから	2.3%	9
その他		8.8%	34



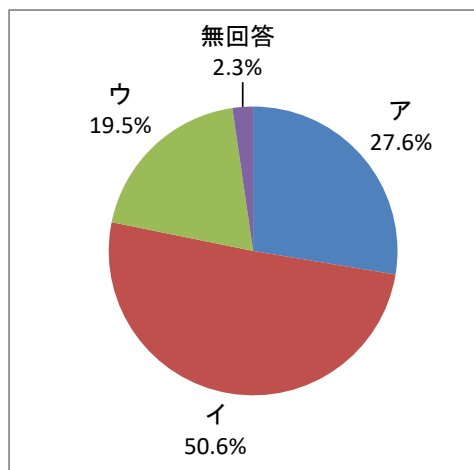
その他(抜粋)

壁の構造が弱く器具取付けが可能かどうか不明だから。
転倒の可能性がある家具は、台所と普段あまり使用しない部屋にしかなく、地震の際人的被害が起きにくいから。
他の優先作業が多すぎてそこまで手が回らないから。

Q9 Q6で「イ 一部の家具類を固定(転倒防止)している」及び「ウ 固定(転倒防止)していない」と答えた方にお聞きします。
あなたのご自宅では、地震発生時、家具類の転倒によってその下敷きになったり、転倒した家具が玄関などの避難口までの避難経路を妨げる可能性はありますか。
(単一選択)

n = 1,307

ア	ある	27.6%	361
イ	ない	50.6%	661
ウ	分からない	19.5%	255
無回答		2.3%	30
		100.0%	1,307

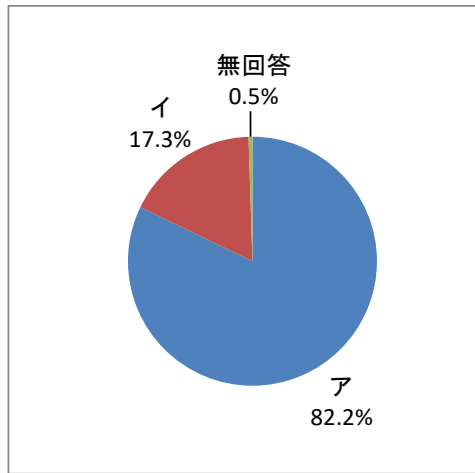


Q10 全員にお聞きします。
地震による停電から復旧した際、切れた電源コードや倒れた電気ヒーターなどの器具に電気が流れて「通電火災※」が発生することがあります。通電火災の発生を防ぐため、地震発生時に自宅から離れる際、ブレーカーを落とすことが有効であることを知っていますか。

※通電火災：地震や台風などの自然災害による長時間の停電後、復旧時に発生する電気火災のこと。損傷した配線などに電気が流れ、発熱発火する場合や、転倒したヒーターに可燃物（カーテン、じゅうたんなど）が触れ

n = 1,586

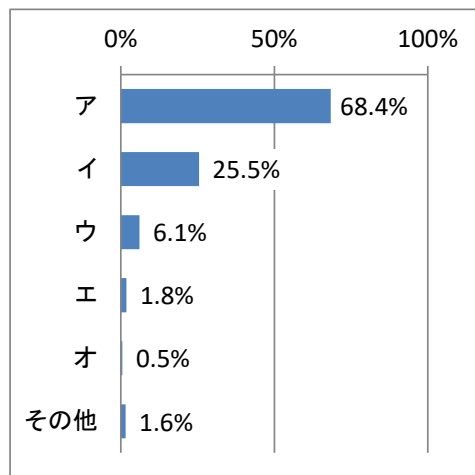
ア	知っている	82.2%	1,303
イ	知らない	17.3%	275
無回答		0.5%	8
		100.0%	1,586



Q11 通電火災の発生を防ぐため、地震発生時に自宅から離れる際、ご自身でブレーカーを落とすことができますか。
※「ア できる」を選択した方は、他の回答を選ばないでください。

n = 1,586

ア	できる	68.4%	1,085
イ	できない(いざとなったら慌てて忘れてしまう)	25.5%	404
ウ	できない(高いところに設置してあり届かない)	6.1%	96
エ	できない(ブレーカーの落とし方がわからない)	1.8%	29
オ	できない(ブレーカーの設置場所がわからない)	0.5%	8
その他		1.6%	25



その他(抜粋)

- 高い位置に設置されているブレーカーの前に転倒するかもしれない家具がある。家具が転倒しなければブレーカーを落とせるが、そこまで行き着けるかどうか、わからない。
- できない(クローゼットの中にブレーカーがあり、その中に入っていけない可能性がある)
- 平時はできるつもりではいるが、その時の状況次第でできるかどうかわからない。
- 冷蔵庫など電源を切りたくない電化製品があるため、ブレーカーは落とさたくない。

Q12

横浜市では、「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」において、木造住宅が密集しているなど地震発生時に火災による被害が大きいとされる地域(泉、磯子、神奈川、金沢、港北、鶴見、戸塚、中、西、保土ヶ谷、南の各区の一部)にお住まいの方々を対象に(他にも要件あり)、電気による火災を防ぐために地震の揺れを感知して電気を自動的に遮断する「感震ブレーカー」の購入・取付支援などの補助を行っています。

あなたは、下記の対象地域にお住いですか。

【泉区】

白百合一丁目～三丁目、中田北二丁目～三丁目、中田西二丁目～四丁目、中田東一丁目～四丁目、中田南一丁目～五丁目

【磯子区】

磯子一丁目～二丁目、磯子八丁目、岡村一丁目～七丁目、滝頭一丁目～三丁目、中浜町、久木町、広地町、丸山一丁目～二丁目

【神奈川区】

旭ヶ丘、入江二丁目、浦島丘、浦島町、大口通、大口仲町、神之木台、神大寺一丁目、神大寺四丁目、栗田谷、子安通一丁目、斎藤分町、白幡上町、白幡町、白幡仲町、白幡西町、白幡東町、白幡南町、白幡向町、立町、中丸、七島町、西大口、西神奈川二丁目～三丁目、二本榎、白楽、平川町、広台太田町、松本町一丁目～五丁目、三ツ沢上町、三ツ沢下町、三ツ沢中町、六角橋一丁目～六丁目、

【金沢区】

金沢町、洲崎町、泥亀二丁目、寺前一丁目～二丁目、西柴三丁目、平潟町、町屋町、谷津町

【港北区】

菊名一丁目、篠原台町、篠原町、篠原西町、篠原東一丁目～三丁目、新吉田東五丁目～六丁目、高田東一丁目、高田東四丁目、綱島西五丁目、仲手原二丁目、錦が丘、日吉本町四丁目、富士塚一丁目～二丁目

【鶴見区】

市場上町、市場西中町、市場東中町、潮田町一丁目～二丁目、小野町、岸谷一丁目～四丁目、北寺尾一丁目～二丁目、北寺尾五丁目～七丁目、汐入町一丁目、下野谷町一丁目～四丁目、下末吉一丁目、下末吉四丁目、諏訪坂、佃野町、鶴見一丁目～二丁目、寺谷一丁目～二丁目、豊岡町、仲通一丁目、馬場一丁目～七丁目、東寺尾三丁目、東寺尾六丁目、東寺尾北台、東寺尾中台、東寺尾東台、本町通一丁目～三丁目、向井町一丁目～二丁目

【戸塚区】

汲沢一丁目、汲沢三丁目～八丁目、戸塚町

【中区】

赤門町一丁目、池袋、石川町一丁目～五丁目、上野町一丁目～四丁目、打越、大芝台、大平町、柏葉、北方町一丁目～二丁目、鷺山、諏訪町、滝之上、竹之丸、立野、千代崎町一丁目～四丁目、寺久保、仲尾台、西竹之丸、西之谷町、初音町一丁目～三丁目、英町、日ノ出町二丁目、本郷町一丁目～三丁目、本牧荒井、本牧大里町、本牧三之谷、本牧町一丁目～二丁目、本牧原、本牧満坂、本牧緑ヶ丘、本牧元町、豆口台、簗沢、妙香寺台、麦田町一丁目～四丁目、元町一丁目～五丁目、矢口台、山下町、山手町、大和町一丁目～二丁目、山元町一丁目～四丁目

【西区】

赤門町二丁目、東ヶ丘、伊勢町一丁目～三丁目、老松町、霞ヶ丘、久保町、御所山町、境之谷、浅間台、浅間町二丁目～五丁目、中央一丁目～中央二丁目、戸部本町、西戸部町一丁目～三丁目、西前町二丁目～三丁目、浜松町、東久保町、藤棚町一丁目～二丁目、元久保町

【保土ヶ谷区】

岩崎町、岡沢町、霞台、帷子町一丁目～二丁目、鎌谷町、神戸町、桜ヶ丘一丁目～二丁目、月見台、初音ヶ丘、星川一丁目、峰岡町一丁目～三丁目、宮田町一丁目～三丁目、和田二丁目

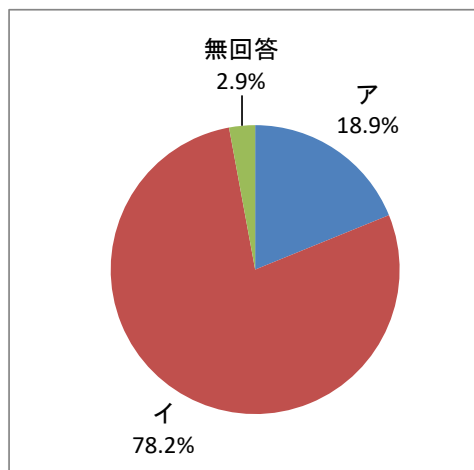
【南区】

井土ヶ谷上町、浦舟町一丁目、永楽町一丁目、榎町一丁目～二丁目、大岡一丁目～五丁目、庚台、唐沢、共進町一丁目～三丁目、山谷、清水ヶ丘、白妙町一丁目～二丁目、高根町一丁目、通町四丁目、中里一丁目～四丁目、永田北一丁目～三丁目、永田山王台、永田東一丁目～二丁目、永田南一丁目～二丁目、中村町一丁目～三丁目、西中町四丁目、八幡町、東蒔田町、伏見町、平楽、別所二丁目～五丁目、別所中里台、堀ノ内町一丁目～二丁目、蒔田町、真金町一丁目～二丁目、南太田一丁目、三春台、宮元町三丁目、六ツ川一丁目～二丁目、睦町一丁目～二丁目、若宮町一丁目～四丁目

(単一選択)

n = 1,586

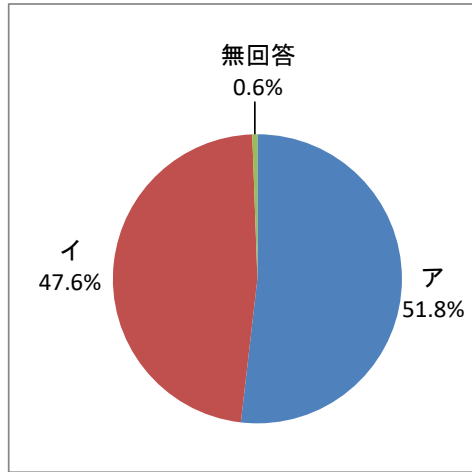
ア	住んでいる	18.9%	299
イ	住んでいない	78.2%	1,241
無回答		2.9%	46
		100.0%	1,586



Q13 強い地震が発生した時に、自動的に電気の供給を遮断する「感震ブレーカー※」という器具があることを知っていますか。
 ※感震ブレーカー：地震の大きな揺れを感知して電気を自動的に遮断し、電気火災を防ぐ器具。電気が漏れた際に遮断する「漏電ブレーカー(漏電遮断器)」とは別の器具です。
 (単一選択)

n = 1,586

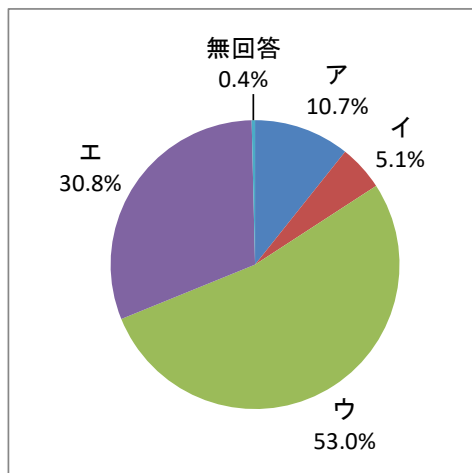
ア	知っている	51.8%	822
イ	知らない	47.6%	755
無回答		0.6%	9
		100.0%	1,586



Q14 あなたのご自宅における、「感震ブレーカー」の設置状況及び今後の設置予定について教えてください。
 (単一選択)

n = 1,586

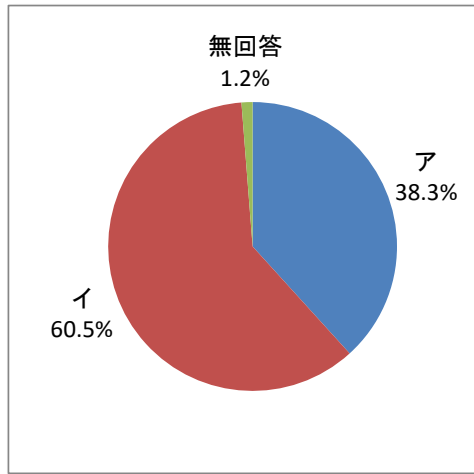
ア	もともと設置されていた (⇒Q16)	10.7%	170
イ	自ら(家族などが)設置した (⇒Q15・16)	5.1%	81
ウ	設置していないが今後設置したい (⇒Q17)	53.0%	841
エ	設置しておらず今後も設置する予定はない (⇒Q17)	30.8%	488
無回答		0.4%	6
		100.0%	1,586



Q15 Q14で「イ 自ら(家族などが)設置した」と答えた方にお聞きします。設置した「感震ブレーカー」は、横浜市の補助制度を利用しましたか。(単一選択)

n = 81

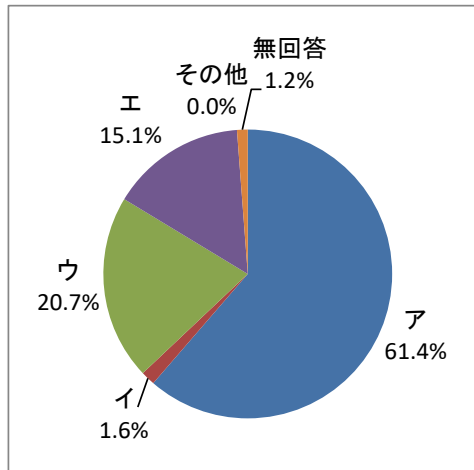
ア	利用した	38.3%	31
イ	利用していない	60.5%	49
	無回答	1.2%	1
		100.0%	81



Q16 Q14で「ア もともと設置されていた」及び「イ 自ら(家族などが)設置した」と答えた方にお聞きします。設置されている「感震ブレーカー」のタイプは、次のうちどれですか。(単一選択)

n = 251

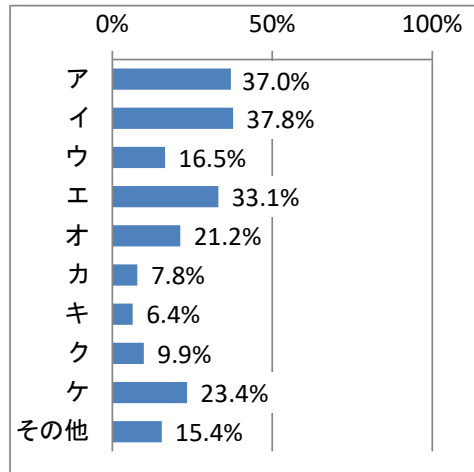
ア	分電盤タイプ(分電盤に内蔵又は接続した感震センサーが揺れを感知し住宅内すべての電気を止める)	61.4%	154
イ	コンセントタイプ(コンセントに内蔵した感震センサーが揺れを感知しそのコンセントからの電気を止める)	1.6%	4
ウ	簡易タイプ(おもり玉又はバネの作動により直接ブレーカーを落とす)	20.7%	52
エ	分からない	15.1%	38
その他		0.0%	0
	無回答	1.2%	3
		100.0%	251



Q17 Q14で「ウ 設置していないが今後設置したい」及び「エ 設置しておらず今後も設置する予定はない」と答えられた方にお聞きします。「感震ブレーカー」を設置していない理由について教えてください。(複数選択可)

n = 1,329

ア	設置する方法が分からないから	37.0%	492
イ	感震ブレーカーをどこで購入できるか分からないから	37.8%	502
ウ	設置するための作業を1人ではできないから	16.5%	219
エ	費用がかかるから	33.1%	440
オ	手間がかかり面倒だから	21.2%	282
カ	必要性を感じないから	7.8%	104
キ	通電火災の危険性について知らなかったから	6.4%	85
ク	補助制度の対象外であるから	9.9%	131
ケ	地震発生時に自宅から離れる際自身でブレーカーを落とそうと考えているから	23.4%	311
その他		15.4%	205



その他(抜粋)

マンション(集合住宅)なので、個人で設置したとしても全体で設置していないと意味がないと思われる。

感震ブレーカーについて知らなかったから。

どの感震ブレーカーを設置すればよいか分からないから。

取り付けの場合ブレーカーボックスの蓋が閉まらなくなる恐れがあるため。

不必要にブレーカーが落ちて欲しくない

電源が落ちると支障のある電気製品があるため、無停電電源装置も考慮しなければならない。

Q18 全員にお聞きします。家具転倒防止対策及び感震ブレーカーの設置促進について、ご意見があればご自由にお書きください。(自由意見)

(抜粋)

家具転倒防止対策の補助金はどういう手続きをすれば良いのか分からない。
お年寄りが家具転倒防止器具などを取付けるのは難しいと思います。
助成制度の認知度はかなり低いと思います。また、申請の手続きが簡易なものでないと促進はされないとします。
家具によっては、固定する耐震強度が弱く、取り付けしている効果がないことから、設置していない。建て替えの時は耐震を考慮した設計が必要だと考えている。
このような促進活動は極めて有益です。どんどん増やしてください。
大阪北部地震のボランティアへ行った際、被害として1番多かったのは固定していない家具の転倒でしたが、時間が経つと忘れてしまうのだと感じました。
家具転倒防止対策及び感震ブレーカー設置の必要性を訴求するための広報活動が十分にできていない、または、多くの市民に届いていないと思います。また、補助制度についても、このアンケートで初めて知りました。今後、さまざまな媒体を活用して広報活動に力を入れていただきたいです。
家具転倒防止器具はホームセンターなどで買やすい状況であるが、感震ブレーカーは、入手できる場所や種類、設置方法などの情報が得にくいので、つつい後回しになってしまう。
今後市内に建設される家屋に感震ブレーカーの設置を義務づけるなどして、普及を図っていただければと思います。
地震などの災害時は、冷静に行動できないと思いますので、ブレーカーが設置されている方が安心です。
通電火災に比べ感震ブレーカーについてはあまり知らなかったです。さらに広く知られ、市内の多くの住宅や建物に設置が進むと良いと思いました。